

市数研だより

令和5年9月25日発行 NO. 3 熊本市中学校数学教育研究会

9月の定例会が9月7日（木）に花陵中学校で行われました。今回は参集とオンライン両方での開催となり、7月末に行われた九州算数・数学教育研究大会の振り返り、ドリルパークの活用方法紹介、熊本市授業研究会の指導案検討などが行われました。

1. あいさつ

市数研会長（花陵中学校 田口校長先生）

九州算数・数学教育研究大会、お疲れ様でした。市数研の先生方、県数研の先生方だけではなく、熊本の数学の先生方の結束が、九州大会の成功に繋がったと思います。これまでの研究の成果を、九州各地の先生方に発信することができたと確信しています。すべての先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



夏休みに特別支援教育コーディネーター研修会の講話を聞く機会がありました。講師の先生は、星槎大学の阿部利彦教授でした。講話の最初に「特別支援教育は、すべての教育の原点であり、子どもから学ぶ姿勢を持つことが大切である」と話をされました。最後には、アドラー心理学のルドルフ・ドライカースの4つの目標の1つを引用して、「人間最大の勇氣は不完全であることを認めること」と締めくくられました。数学の授業も、子どもから学ぶ姿勢を持ちながら、人間の不完全さを安心して認め合う雰囲気をつくり、子どもたちのつぶやきを大切にしながら授業を展開していければと思います。九州大会は終わりましたが、市数研の研究は止まりません。先生方、今後よろしくお願いいたします。

2. ドリルパークの活用について（ベネッセコーポレーション担当者より）

子どもたちの学力向上のためにバージョンアップした機能等があり、以前からある機能も含め、活用について一部紹介していただきました。

※QRコードを読み込むと、当日配布された資料と動画が見られます。

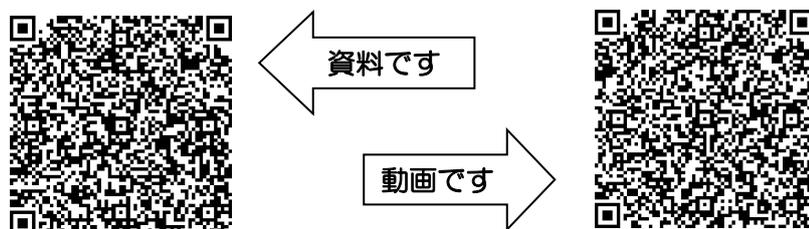
① AI機能を搭載している。

各単元でドリルの問題があり、「単元を細かく分けた問題」と「単元全体を総復習するまとめ問題」があります。また、プレースメント問題で現状を把握し、AI機能によるベーシック問題（単元学習問題）で、個に応じた問題を出してくれます。このようなデジタルドリルを活用すると、子どもたちは個別最適な学びによって学力向上を達成することができます。

② 宿題配信機能がシンプルになり、使いやすくなった。

子どもたちの実態に応じた問題を選択して宿題配信することができます。問題を選ぶ際に、子どもたちが解き終わるまでに必要な時間が想定され、表示されます。例えば、計算問題をどのくらい解かせるか悩まれたときも、目安があるので、教師側は問題を選択しやすくなります。

教師が配信した問題は、子どもたちが操作する画面では、一番上に表示されるので、間違えて別の問題を解いてしまうようなこともなくなります。



3. 九州算数・数学教育研究大会の振り返り

授業者、責任者の先生方から、プレゼンテーションや写真を使って、九州大会に向けた取り組みの中での学びや今後に生かしたいことなどの話がありました。



4. 熊本市授業研究会の指導案検討

10月3日に行われる熊本市授業研究会の指導案検討を行いました。どのブロックも、活発な意見交換が行われていました。

授業者	所属校	単元
徳永潤治 先生	桜山中	一次関数（2年）
北野光洋 先生	託麻中	箱ひげ図とデータの活用（2年）
坂井政輝 先生	東部中	図形の調べ方（2年）
吉田弘生 先生	西山中	二次方程式（3年）
工藤龍之介 先生	天明中	箱ひげ図とデータの活用（2年）

5. まとめ①

熊本市教育委員会 坂口隆義主任指導主事より

ドリルパークの説明にお時間をいただき、ありがとうございました。今後も先生方に、積極的に使っていただければと思っています。ドリルパークの利用を始めて2年が経ち、着実にバージョンアップし、現在AI機能もついています。本日説明があったように、個別最適な問題がそれぞれに出題されます。ベネッセによると、成績下位層に大きな効果が調査結果に出ていると聞いています。上位層にも思考力を問うような、悩み考える問題が用意されています。ぜひ使っていただき、よかった点や改善してほしい点などをお聞かせください。



授業づくりに関しては、教育センターの柳邊指導主事が先生方にいろいろな提案をしてくださっていると思います。全国学力・学習状況調査の結果も市教委として分析と活用を近々先生方にお届けいたします。今後は、主体的で対話的で深い学びに向けて、探求型の授業を更に推進していただきたいと考えています。子どもたちが主体的に考え、友だちと協働し、学び続けるよう、先生方の一言で子どもたち自身がどんどん前に進んでいくような授業を、考えていきたいなと思っています。私自身できる限りこちらに足を運びながら、一緒に頑張っていきたいと思っています。今後もよろしく願いいたします。

6. まとめ②

市数研会長（花陵中学校 田口校長先生）

熊本市授業研究会の話をしします。今年の研究会は、久しぶりに会場校に参集して行われます。熊本市授業研究会は、持ち回りになりますが、年に1回、熊本市内の中学校数学教師が各学校に集い、貴重な授業提案をしていただきます。この研究会で忌憚のない意見をいただき、協議し、そこで得た成果を、それぞれの先生が自分の学校に持ち帰り、その後の授業に生かしてきた伝統ある研究会となっています。今年度も有意義で充実した授業研究会になるものと確信しています。今年度の授業をしていただく先生方、授業づくりに関係していただく先生方、司会や記録などのお世話をさせていただく先生方、助言をしていただく先生方に心から感謝申し上げます。

7. お知らせ

次回の定例会は、**10月12日(木)19時～ 天明中学校**です。

「テスト交換を通して、指導力向上を目指そう！」を行います。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

kurebayashi.shusuke@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 西山中学校 紅林 周佑